

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食品ロス削減事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (環境部 環境政策課 環境政策担当)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,883,000 円 (うち支援金: 1,406,000 円)

### 事業内容

まだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」は、年間642万トンも排出されており、行政のみならず、市民や事業者が一丸となって取り組むことにより、食品ロスを減らしていく必要がある。

本市では、みんなで減らそう食品ロスをテーマに、「残さず食べよう! 30・10運動」を展開し、家庭、飲食店それぞれの食品ロスを減らすための取り組みを行った。

特に、飲食店の協力による普及啓発や食生活改善推進員に話をするなど、市民との連携により事業を実施した。



【 パネル展示 】

### 【目標・ねらい】

- ①市民への波及
- ②飲食店等の理解・協力
- ③食品ロス(ごみ)の減量化

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①市民から啓発品を使いたいという声は徐々に増えてきており、市民から市民への広がりも見せてきている。また、「残さず食べよう! 30・10運動」は、全国的にも広がっている。
- ②飲食店等の協力により、コースターやポケットティッシュの配布は、多くの店舗に活用いただくことができた。
- ③食品ロスの削減については、定量的な一般廃棄物の総量は減少してきているので、当該事業による効果もあると考えられる。

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

「残さず食べよう! 30・10運動」は、全国的な広がりをみせるとともに、市民や事業者から啓発品を使用したい旨の声も徐々に広がってきている。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

定量的な効果を明らかにし、効果を次の施策へ活かしていく。

市民・事業者・飲食店と多様な主体が協力することによって、一層の食品ロス削減ができるような仕組みづくりに努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある